



Safe Crop Project News



No.14 2018年11月発行

「ベトナム北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト（2016年～2021年）」は、北部地域2市11省において、「Basic GAP (Good Agricultural Practices)」を始めとする安全作物栽培の技術規範に沿った生産活動、消費者の安全野菜への信頼醸成、及び、多様なサプライチェーンの構築を支援することで、対象地域における安全作物栽培の振興を目指します。

第2回TOT(マーケティング)の開催

2018年10月9日に、生産のパイロット省（ハイズン省、ハナム省、フンエン省）とセミパイロット省（タイピン省、ビンフック省、フートー省）のPPMU (Provincial Project Management Unit) メンバー及びターゲットグループのボードメンバーを対象に、第2回目となるマーケティングのTOT(Training of Trainers)を開催しました（2017年2月開催の第1回目TOTについてはNL第3号で報告）。今回のTOTの主な目的は、①参加者が、各省のターゲットグループに対し、マーケティング活動の枠組みと概念、そして目的を伝えることができるようになること、②PPMUのマーケティング担当者が、ターゲットグループのボードメンバーと連携し、TOF(Training of Farmers)の実施とマーケティング活動への支援を行うことができるようになること、の2点です。



講義開始時にマーケティング活動の全体概要とTOTの位置付けについて説明する萬宮副総括

具体的な事例を交えた実践的なトレーニング

第2回目となる今回は、パイロット省における活動事例を交えながら、市場ニーズに基づく生産計画策定、マーケティングツールの開発、収穫時のバイヤーとの調整からモニタリング評価まで、より実践的な内容に特化したトレーニングとなりました。具体的には、①安定したバイヤーが既にあるケースとまだないケース、それぞれのケースごとの生産計画策定、②生産者プロフィール、リーフレット、ロゴや包材等マーケティングツールの開発、③収穫時のバイヤーとの品質・サイズ規格等の合意形成（目揃え会）を含む、収穫から配送までの工程管理、④各工程のモニタリング

とシーズン終了時のバイヤーとのレビュー会合等に関する講義が行われました。

パイロット省による経験共有

各講義の後には、参加者間の議論と経験共有の場が設けられました。議論では、新規に選定されたターゲットグループと既存のターゲットグループのメンバーが同じラウンドテーブルに座ることで、活発な意見交換と経験共有が行われました。以下は、ハイズン省の既存ターゲットグループである Tan Minh Duc 組合の Thu 副代表によって参加者と共有された経験です。

「プロジェクト参加前は、共同出荷の方法や、生産した野菜の潜在バイヤーへのアクセス方法が分からず、ゼロからのスタートでした。プロジェクト活動への参加開始から1年以上経ち、生産とマーケティングの支援を得て、生産計画の策定、各種マーケティングツールの準備を行い、大手スーパーや卸業者、小売業者等との契約に結び付けることができました。マーケティングに関する知識と、潜在バイヤーへのアプローチ方法は、生産者がバイヤーとの信頼を確立する上で、とても重要であると考えます。まず信頼を得ること、その上でバイヤーは実際の生産状況の確認を行い、契約締結へと繋がります。」



マーケティング活動の経験について発表する Tan Minh Duc 組合の Thu 副代表

現在、TOTに参加したPPMUメンバーと対象グループのボードメンバーが中心となり、プロジェクトの支援を得ながら、各対象グループにおけるTOFを順次実施中です。

セミパイロット省の紹介ービンフック省

セミパイロット省紹介の第2回目は、日系企業も多く進出しており、近年顕著な経済発展が進むビンフック省です。最近では、ハノイ市中心部まで約50km、車で約1時間の地の利を活かし、サプライチェーンに沿った安全野菜生産に取組む新規組合の設

立が進んでいます。以下、ビンフック省農業農村開発局よりビンフック省の農業概況についてレポートいただきました。

ビンフック省はノイバイ国際空港に近く、首都ハノイへの玄関口となっており、北部重要経済地域に指定されています。省面積

は 123,100 ha、この内農地面積は 41,000ha を占めており、Tam Dao 郡のハヤトウリやカスタードアップル、Vinh Tuong 郡のカボチャ、Tam Duong 郡のチキン、マレーシアに輸出されている Lap Thach 郡のドラゴンフルーツ（果肉が赤い品種）等、産地ブランドの確立が進む農産品も多くあります。

ビンフック省は地理的に高品質な農産物の発展に適しており、それぞれの地域の自然や社会条件に合わせた作物品種や栽培時期への変更が進められています。また、野菜栽培への参入を促進することを目的とした冬作、葉菜類栽培への支援、生産性や品質の高い品種の導入、競争力のある大規模生産エリアの形成等の政策が効果的に実施されており、1ha 辺りの生産額向上に大きく貢献しています。

野菜はコメやトウモロコシよりも経済効率が高く、農業セクターの構造改革において主力作物となっており、近年、野菜の生産面積と生産高が毎年増加しています。野菜の通年栽培エリアの形成も進んでおり、126 生産者、合計 987.11ha において食品安全条件認証が取得されており、70 生産者、合計 695.47ha において VietGAP 認証が取得されています。

野菜栽培に適した高地エリアの Tam Dao 郡では伝統的な作物と比較して生産効率が高いカボチャ、冬瓜、胡瓜、スイカ、唐辛子、トマト、ハヤトウリ等の生産が行われており、1 シーズン 1ha 辺り、カボチャ:6,400 万 VND、ウリ科野菜:1 億 4,300 万 VND、唐辛子:1 億 1,000 万 VND、トマト:1 億 8,300 万 VND、ハヤトウリ:2 億 VND の生産額を上げています。

現在、サプライチェーンに沿った野菜生産に特化する組合モデルの形成も進んでおり、安全野菜の生産と省内外の消費者への供

給の促進に大きく貢献しています。

ビンフック省農業農村開発局では、これまでに達成した成果の更なる推進に向け、引き続き、高品質野菜・果物生産への変革を指導し、省の農林水産品の生産高の向上と、日々増加している消費者のニーズに応えていきます。



Tam Duong 郡の VietGAP に沿った胡瓜生産モデル

プロジェクトではビンフック省の対象グループとして、Vinh Phuc Safe Vegetable 組合、Visa Safe Vegetable 組合、及び、Dai Loi 組合を選定しました。いずれもサプライチェーンに沿った安全野菜生産を進める組合です。今期の冬作より、品質と規格の安定化やマーケティング活動を通じて、更なる販路の拡大を支援して行きます。

リスクアナリシスーリスク評価・リスク管理・ リスクコミュニケーション

国際的に、食品の安全性確保において「リスクアナリシス」の導入が広く推奨されており、2017 年 1 月に発表されたベトナムにおける食品安全リスク管理の報告書“Vietnam food safety risks management”（世界銀行）においても、リスクに基づく食品安全管理システムの導入が推奨されました。本コーナーでは、リスクアナリシスについて簡単にご紹介させていただきます。

リスクアナリシス

リスクアナリシスは、「リスク評価」、「リスク管理」、「リスクコミュニケーション」の 3 つの要素から構成されており、「リスク評価」は、科学的知見に基づいて評価を行うこと、「リスク管理」はリスク評価に基づき食品の安全性を確保するための政策・措置の検討と実施を行うこと、「リスクコミュニケーション」は、リスクアナリシスの全過程において、リスク評価者、リスク管理者、消費者、事業者、研究者等の関係者間で情報共有や意見交換を行うことです（図 1）。リスクアナリシスにおいては、これら 3 つの要素が相互に作用することで、よりよい成果に繋がると考えられています。

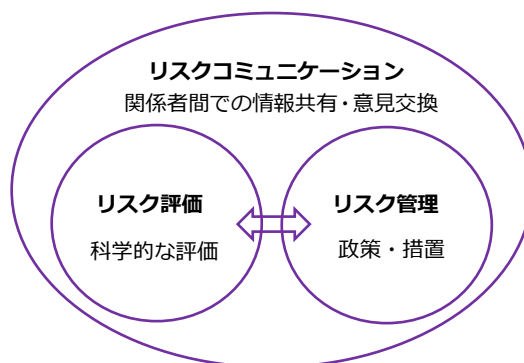


図 1：リスクアナリシス

今回は、リスクコミュニケーションについて、日本の事例を交えながら、より詳しくご紹介させていただきます。

参考：ベトナムにおける食品安全リスク管理に関する報告書（世銀）
<http://documents.worldbank.org/curated/en/docsearch/projects/P158057>

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております

JICA プロジェクト事務所

Room 201, Department of Crop Production, Ministry of Agriculture and Rural Development,
2 Ngoc Ha Str., Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam
Tel/Fax : +84 24 3244 4373, Email: safecropproject@gmail.com